

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年7月18日 (2013.7.18)

【公開番号】特開2012-224636(P2012-224636A)

【公開日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2012-166700(P2012-166700)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| A 6 1 K | 39/395 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 48/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 45/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 11/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/06 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 17/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 27/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 1/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 13/12 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/09 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/02 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/04 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/39 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 15/09 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/00 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/15 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 16/14 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|--------|---|
| A 6 1 K | 39/395 | D |
| A 6 1 K | 48/00 | |
| A 6 1 K | 45/00 | |
| A 6 1 P | 31/04 | |
| A 6 1 P | 11/04 | |
| A 6 1 P | 29/00 | |
| A 6 1 P | 31/06 | |
| A 6 1 P | 17/00 | |
| A 6 1 P | 27/02 | |
| A 6 1 P | 1/04 | |
| A 6 1 P | 13/12 | |
| A 6 1 K | 39/09 | |
| A 6 1 K | 39/02 | |
| A 6 1 K | 39/04 | |
| A 6 1 K | 39/00 | K |
| A 6 1 K | 39/39 | |
| C 1 2 N | 15/00 | A |
| C 0 7 K | 14/00 | |
| C 1 2 N | 1/15 | |
| C 0 7 K | 16/14 | |

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- グルカンおよび細菌トキソイドを含む結合体。

【請求項 2】

細菌トキソイドがCRM₁₉₇である、請求項 1 記載の結合体。

【請求項 3】

- グルカンがラミナリンである、請求項 1 記載の結合体。

【請求項 4】

- グルカンがラミナリンである、請求項 2 記載の結合体。

【請求項 5】

- グルカンがプスチュラン (pustulan) である、請求項 1 記載の結合体。

【請求項 6】

- グルカンがプスチュラン (pustulan) である、請求項 2 記載の結合体。

【請求項 7】

- グルカンおよび細菌トキソイドを含む結合体であって、 - グルカンが、

(a) 100kDa未満の分子量を有する - グルカンポリマーであり、

(b) 1つ以上の - 1, 3 - 結合および / または 1つ以上の - 1, 6 - 結合を含み

、

(c) (i) プロテアーゼ処理された真菌細胞、(ii) マンノタンパク質を欠失した真菌細胞

、または(iii) 純粋なグルカン由来のグルカンであり、かつ

(d) CRM₁₉₇と結合体化されており、

該結合体が哺乳動物に投与された際、該結合体は真菌病原体に対する保護抗グルカン抗体を惹起するが、抗グルカン抗体の保護効果を抑制する抗体を惹起しない、結合体。

【請求項 8】

- グルカンが 1つ以上の - 1, 6 - 結合を含む、請求項 7 記載の結合体。

【請求項 9】

- グルカンが分枝している、請求項 7 または 8 記載の結合体。

【請求項 10】

- グルカンが真菌 - グルカンである、請求項 7 ~ 9 のいずれか一項記載の結合体。

【請求項 11】

- グルカンがプロテアーゼ処理された真菌細胞の形態である、請求項 7 ~ 10 のいずれか一項記載の結合体。

【請求項 12】

- グルカンがCandidaの細胞壁由来である、請求項 7 ~ 11 のいずれか一項記載の結合体。

【請求項 13】

CandidaがC. albicansである、請求項 12 記載の結合体。

【請求項 14】

- グルカンがラミナリンである、請求項 7 ~ 13 のいずれか一項記載の結合体。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 14 のいずれか一項記載の結合体および薬学的に受容可能なビヒクルを含む、ワクチン組成物。

【請求項 16】

アジュバントをさらに含む、請求項 15 記載のワクチン組成物。

【請求項 17】

抗真菌剤をさらに含む、請求項 15 または 16 記載のワクチン組成物。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 14 のいずれか一項記載の結合体を調製する方法であって、以下の工程：

(a) - グルカンをアミノ化する工程；

(b) 該アミノ化された - グルカンを精製する工程；

(c) 該精製された - グルカンを活性化する工程；および

(d) - グルカン / 細菌トキソイド結合体が得られる条件下で、該活性化された -

グルカンを細菌トキソイドと結合させる工程

を含む、方法。

【請求項 19】

- グルカンがラミナリンである、請求項 18 記載の方法。

【請求項 20】

- グルカンがプスチュラン (p u s t u l a n) である、請求項 18 記載の方法。